

# KagoGIGA インフォメーション

鹿児島県教育庁高校教育課  
学校教育ICT推進班  
令和5年4月号

こんにちは!! 学校教育ICT推進班です。今回の話題は2本立て!! 今年度もよろしくお願いたします。

## 今回の話題① 「KagoGIGA 情報交流室」には登録されましたか?



### 【コンテンツ】

- ・ KagoGIGA 情報交流室 (メイン)
- ・ よろず相談-みんなで解決!!箱
- ・ アプリ活用-授業編
- ・ アプリ活用-行事編
- ・ アプリ活用-業務改善編
- ・ ICT仕事時短テク編
- ・ オンライン活用編
- ・ デジタル教科書編
- ・ MEXCBT・学習eポータル編



学校教育ICT推進班では、GIGAスクール構想の実現を目指した県全体のICT活用の充実Microsoft Teamsを使った教職員の情報交流のためのプラットフォーム「KagoGIGA 情報交流室」を開設しています。

ICT活用に係る最新情報や研修会等の情報提供、教職員相互に相談やデータの共有等が可能です。今年度は、「KagoGIGA 情報交流室」を通してのプチイベントも開催したいと考えております。

令和5年3月末現在、登録者数は740人。まだまだたくさんの方に登録していただき、県全体で盛り上がっていきたくて考えています。まだ登録されていらっしゃらない方は是非ご登録ください。登録されている方、まだ登録されていない方へ是非お勧めください。

鹿児島市教育委員会学校ICT推進センターの「鹿児島市GIGAスクールフォーラム」とも連携し、鹿児島市以外の市町村の皆さんにも有益な情報は「KagoGIGA 情報交流室」でも投稿していただけるようになっています。

新規登録方法の解説を見るには[こちらをクリック!!](#)  
(見るためには県域教育用アカウントが必要です。)

## 今回の話題② 未来を創る鹿児島「教育の情報化」推進プラン (Vol.1) を策定しました!!

本推進プランは、「学校教育の情報化の推進に関する法律」第9条第1項の規定に基づき、昨年12月末に策定された国の「学校教育情報化推進計画」を基本として、本県の教育の情報化推進に関する施策を示すものであり、県内の「教育の情報化」に係る有識者等からの意見等をお聞きしながら策定したものです。

県教育委員会においては、関係部局等と連携しつつ、本プランに基づいて学校教育の情報化の推進を図ることとしています。

なお、教育の情報化を巡る情勢の変化が非常に早いことや、デジタル庁等の動きとも連動した情報・教育データを利活用した教育、ICTを活用したSTEAM教育など、今後も様々な施策等を行っていく必要があることなどから、国の動向等も注視しつつ、随時、計画の充実・見直し等により更新を図っていくこととしており、そのために「Ver.」による表記としています。

本推進プランの全体版は、県教育委員会HPの「教育の情報化」のページや「KagoGIGA 情報交流室」からダウンロードできますので、是非一度ご覧ください。

### 未来を創る鹿児島「教育の情報化」推進プラン Ver.1.0 (概要)

**I プランの目的と位置付け**

- 県全域で等しく質の高い教育を受けられるための環境整備を確立
- 学校教育の情報化の推進に関する法律に基づいた計画の策定
- 令和5年度からの3年計画を計画期間とし、計画期間内においても随時「Ver.」の更新により充実・見直し

**II 本県における教育の情報化の基本的な方針**

- 予測可能な時代において、「夢や希望を担い未来を担う鹿児島の人づくり」の観点から教育の情報化を推進
- ICTを「文房具」として日常的に活用し、主体的に考え、積極的に実践し、個性を生み出す力を育成
- 全ての学校において、積極的にICTを活用できる環境を整備し、その活用を促進
- 情報化が急速に進展する社会において、子供たちに身に付けることが求められる情報活用能力の育成
- 教師のマインドセット（授業観等）の変革と、主体的に学んでいく姿勢や管理職のリーダーシップの充実に
- 本県の魅力ある教育資源とICTのベストミックスによる鹿児島教育DXを推進し、「学びの革新」により、本県ならではの「令和の日本型学校教育」を実現

鹿児島教育DX

**III 本県における教育の情報化の推進に当たって大切にすべき視点**

1. 児童生徒の学びを支援するためのICT活用
  - 適切な児童生徒に必要な資質・能力を身に付けることであり、ICTはそのためのツール(手段)
  - 教師・児童生徒共に「まずはやってみる」という姿勢で、実践問題による不断のPDCAを繰り返す
2. 「リアルな体験」や「つながる経験」とのベストミックスを生み出すICT活用
  - 本県の魅力溢れる豊かな教育資源を積極的に活用し、「リアル×デジタル」のベストミックスを推進
  - ICTを人や自然、文化等と「つながる」手段として積極的に活用し、交流を促進
3. 互いの学び合いによるICT活用能力の向上
  - 教師も「誰一人取り残さない」ようにして、学びつつ教え、教えつつ学ぶ姿勢が重要
  - 卒業後として多様な教育実践をつなぎ、誰も取り残されない形で、新たな学びの革新を推進

**IV 具体的な施策**

1. 質の高い個人・社会とのつながりを実現するための学習者の育成
  - ① 社会の課題に対応できる情報活用能力の育成
  - ② プランの社会・経済的に必要とされる能力を高める情報モラル教育等の実施
  - ③ 情報の多様性を認め、強固な思考力を身に付けプログラミング教育の充実
  - ④ 健康面に留意し、適切にICTを活用できる環境の整備
2. 新たな学びを生み出す環境の創造
  - ① ICTやAI、データなどを活用した個別最適な学び・協働的な学びの推進
  - ② 学びを伸ばす機会を創出し、児童生徒に対する学びの保障等
  - ③ 障害等による学習上又は生活上の困難を克服するためのICT活用促進
3. 教職員のICT活用能力の向上
4. 校務の情報化の推進

5. 学校におけるICT環境の整備と維持管理  
① 教育の情報化を促す基盤整備 ② 個人情報・学業・情報セキュリティの確保 ③ 教育の情報化を推進するための体制整備

**夢や希望を実現し、未来を担う鹿児島の人づくり**

<<リンク>> ↓

鹿児島県教育委員会 / 教育の情報化  
([pref.kagoshima.jp](http://pref.kagoshima.jp))

<<二次元コード>> →

